

教草女房形氣

山東京山著

卷一



~ 13
3580
1



13
3580
明治

治 戊寅冬補刻

山東京山著
歌川豊國畫

教草女房彬氣

とーえ ぶら にろう せろう

か

早稲田大学図書館
昭和 35.1.22 蔵書

全部二十五編揃
都合五十巻の内

貞操於律の美譚

自初編
至二編

此讀切を
第壹輯と極

浪華書肆

前川文榮閣藏梓



織心
弘化二年春新板
弘化二年
己亥稿本
山東京山著
歌川豊國畫
自初編
至二編
此讀切を
第壹輯と極



再興せらるるものち
 天正七年
 殿下にて入湯ありて
 灰燼山阿弥
 此堂を創り久の
 古跡あり
 本朝より
 湯とく
 此方ことゆき移り世の
 ある不るりけき
 温泉の起原を
 ありありと

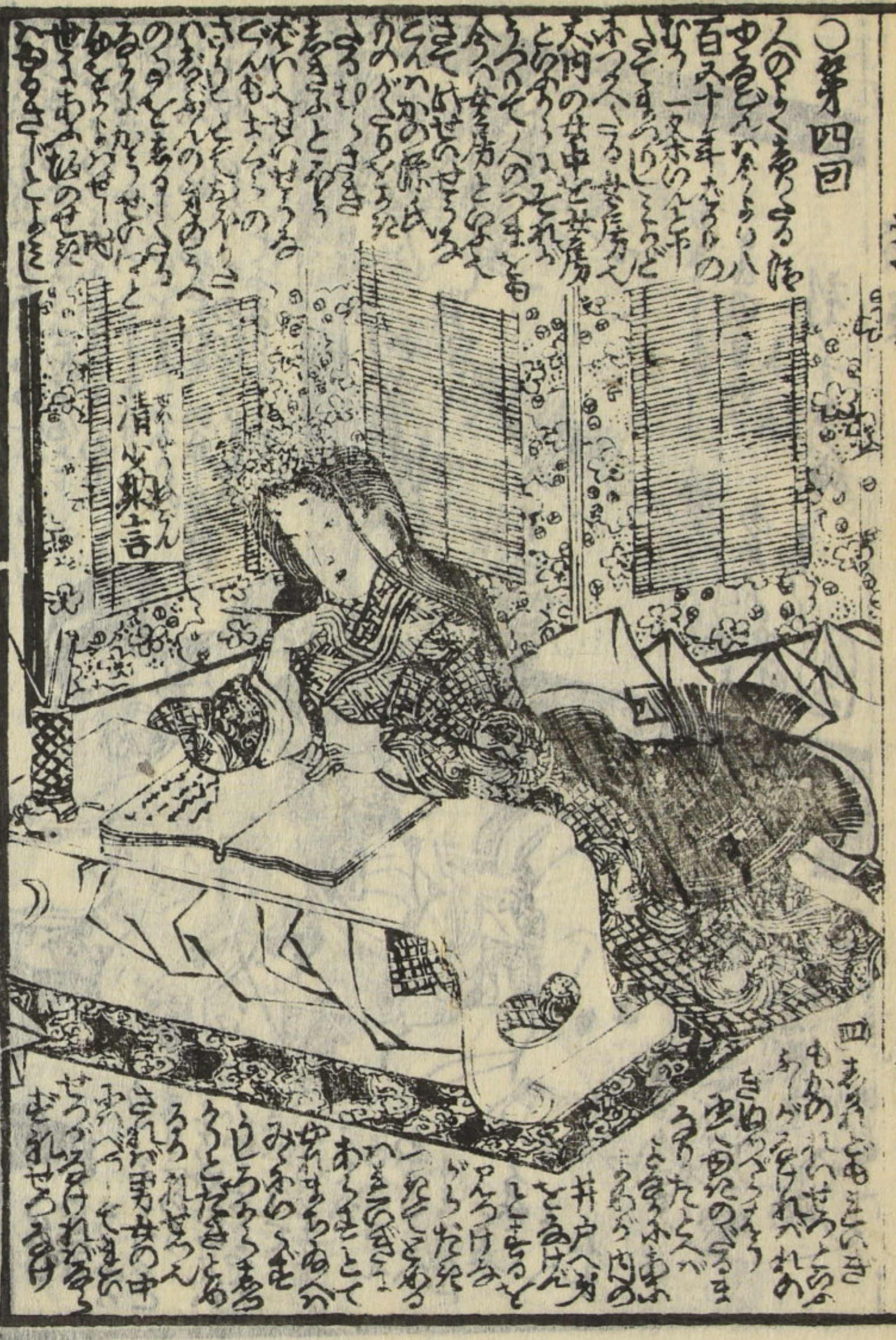


○撰津國有馬郡山口の庄の温泉也
 元と有馬の湯とてその名を諸
 國におこせりて今も湯あり
 二百五十余年の湯なり
 天正三年は湯始に湧出
 行幸ありてその湯徳大目
 幸ありとて今日日本紀に
 又千載集にありて湯あり
 ありて湯堀河院兼徳元
 陣洪水山を崩して温泉
 溢れりとのあり九十五年の
 同治元年と後鳥羽院の
 御時建久二年大和国吉
 野の湯仁西法師能辨
 小舎を詣りて権現の
 夢を小舎にて有
 馬の湯の温泉とて





○第四回



人の心は、ある日、ある事を知り、ある事をする。...

百八十一年、ある日、ある事を知り、ある事をする。...

ある日、ある事を知り、ある事をする。...

ある日、ある事を知り、ある事をする。...

ある日、ある事を知り、ある事をする。...

ある日、ある事を知り、ある事をする。...

ある日、ある事を知り、ある事をする。...

ある日、ある事を知り、ある事をする。...

ある日、ある事を知り、ある事をする。...



ある日、ある事を知り、ある事をする。...

ある日、ある事を知り、ある事をする。...

ある日、ある事を知り、ある事をする。...

ある日、ある事を知り、ある事をする。...

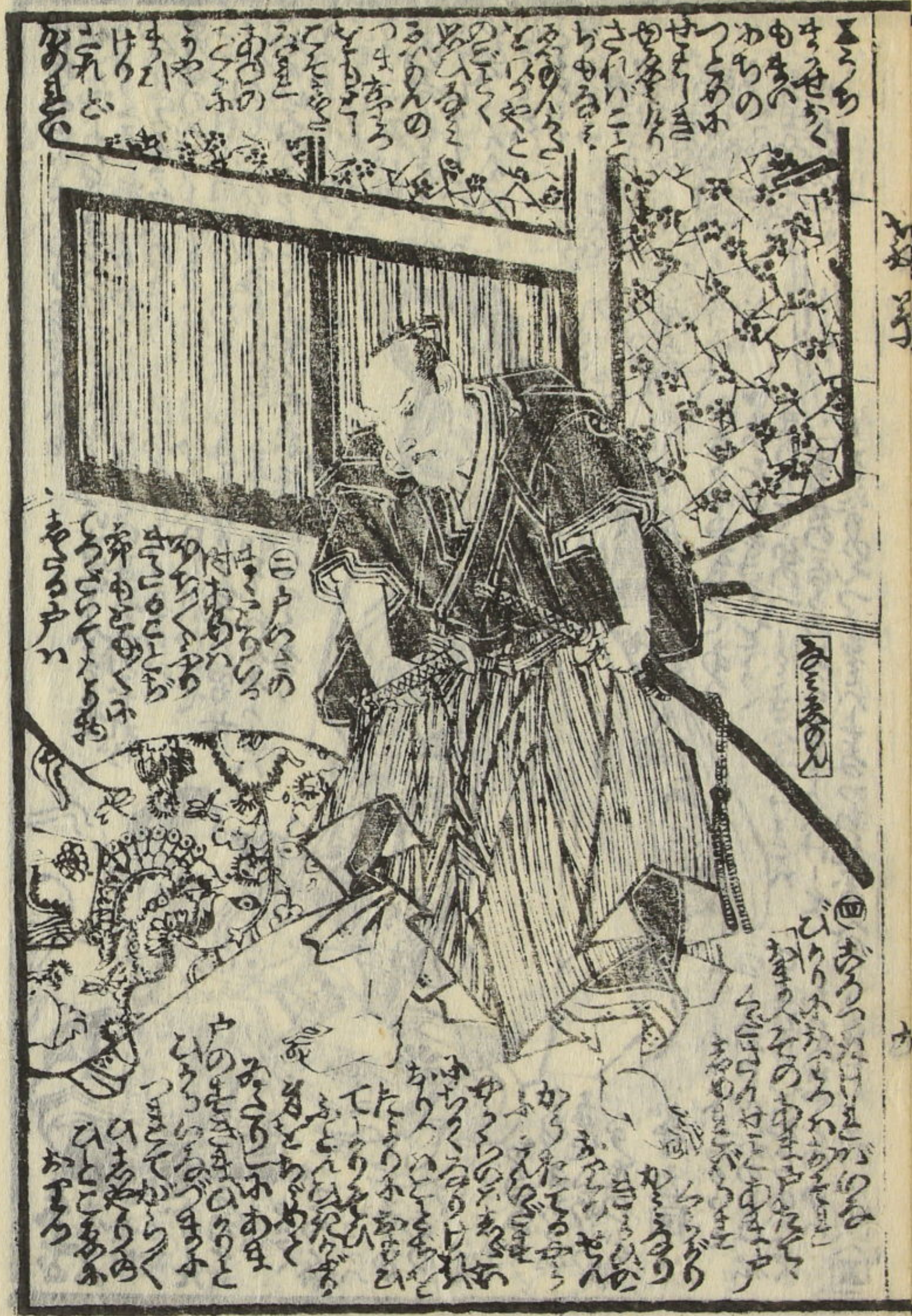
ある日、ある事を知り、ある事をする。...

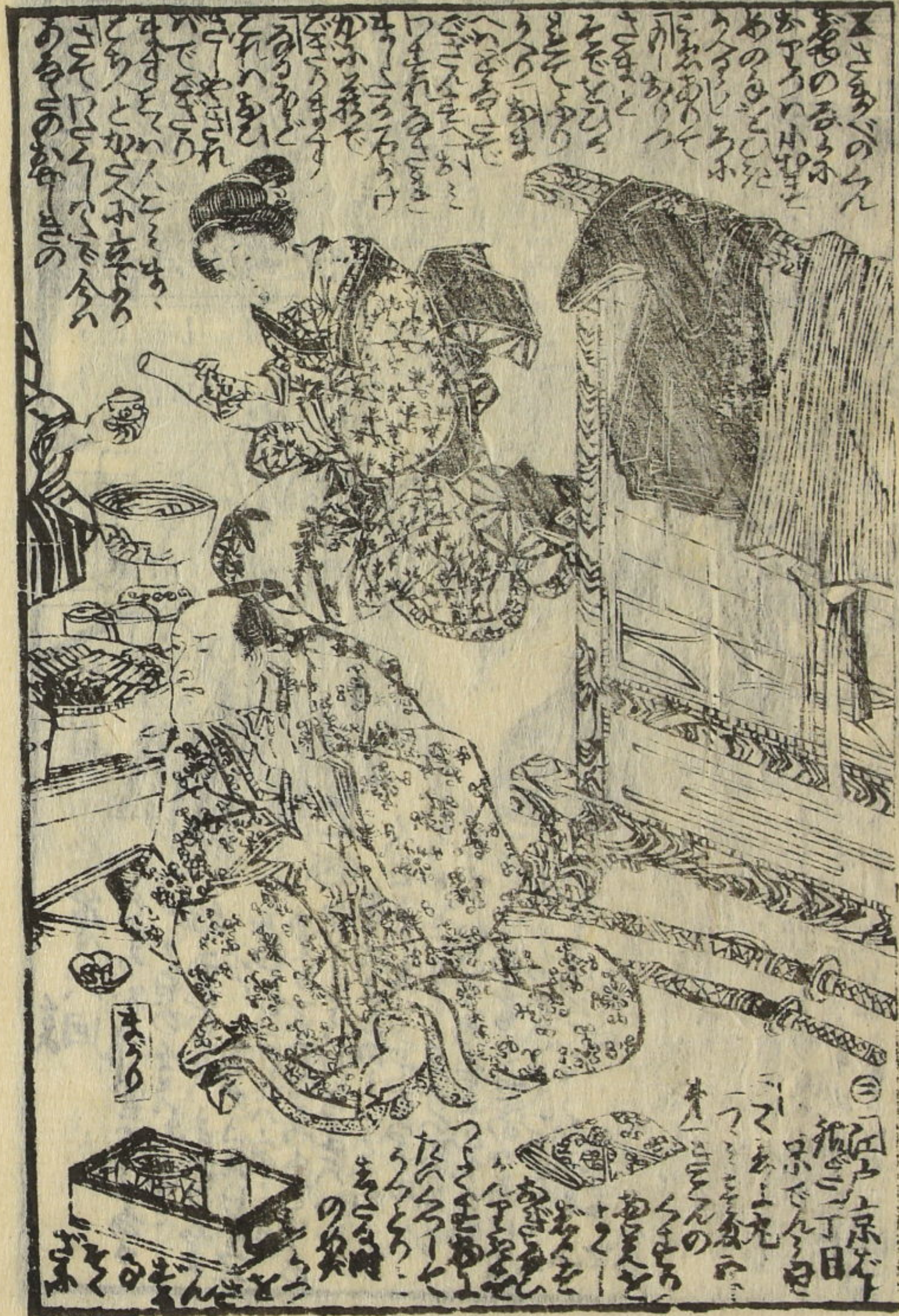
ある日、ある事を知り、ある事をする。...

ある日、ある事を知り、ある事をする。...

ある日、ある事を知り、ある事をする。...

ある日、ある事を知り、ある事をする。...





上は多分のぐん
 茶室のまじふ
 お茶のいふや
 ろのいふや
 うつろふ
 けいふ
 けいふ
 けいふ
 けいふ

三
 三
 三
 三
 三
 三
 三



上は多分のぐん
 茶室のまじふ
 お茶のいふや
 ろのいふや
 うつろふ
 けいふ
 けいふ
 けいふ
 けいふ

三
 三
 三
 三
 三
 三
 三



③
それかすり
あつとふらう
きつとふらう
うらふらう
せんくふらう
りらひのうらう

つぎけれど
ぬちらうが
ゆらう
まがら
あつとふらう
かすり
ことつて
いひ
あつとふらう

④
その二
あつとふらう
せんくふらう
りらひのうらう

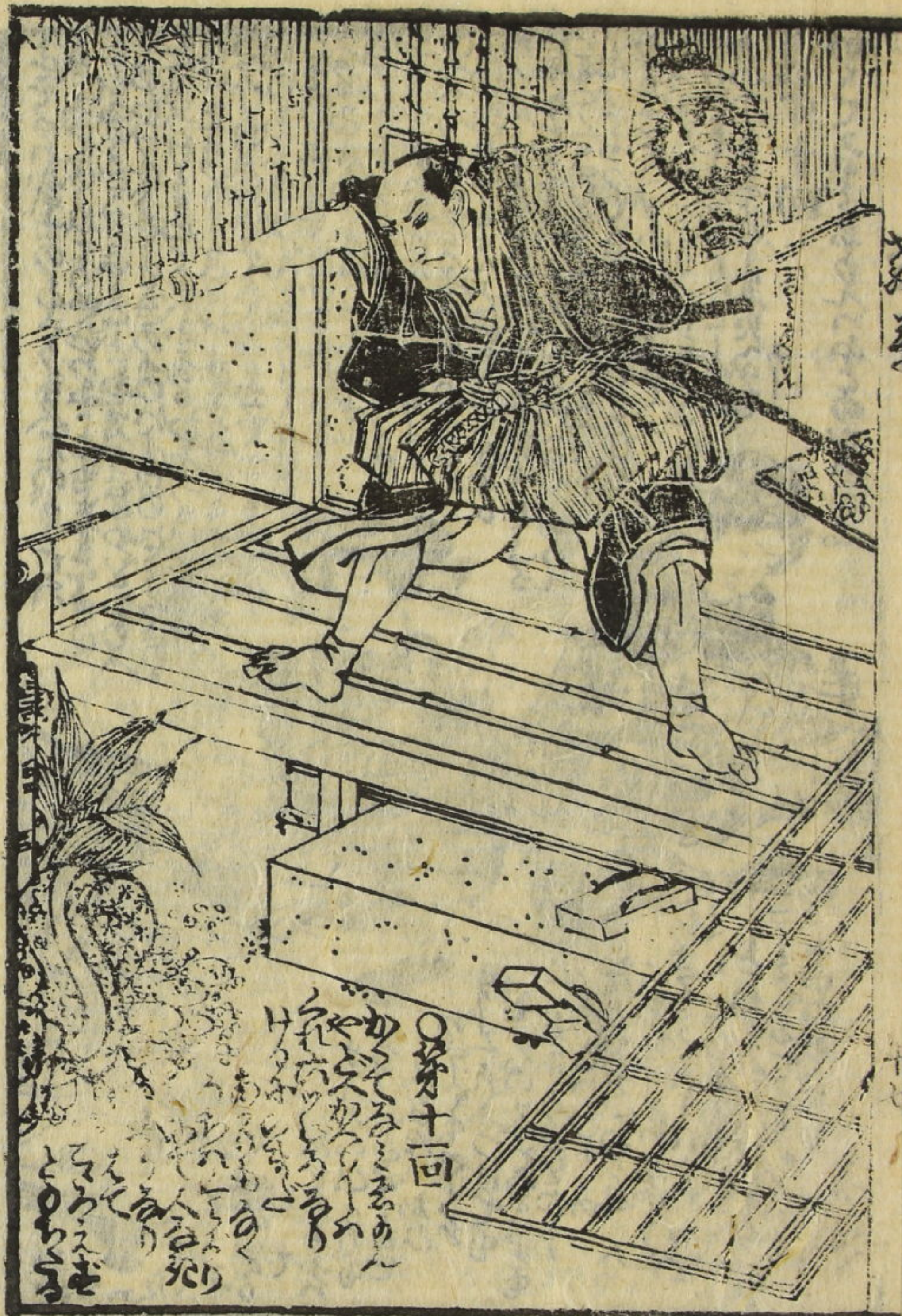
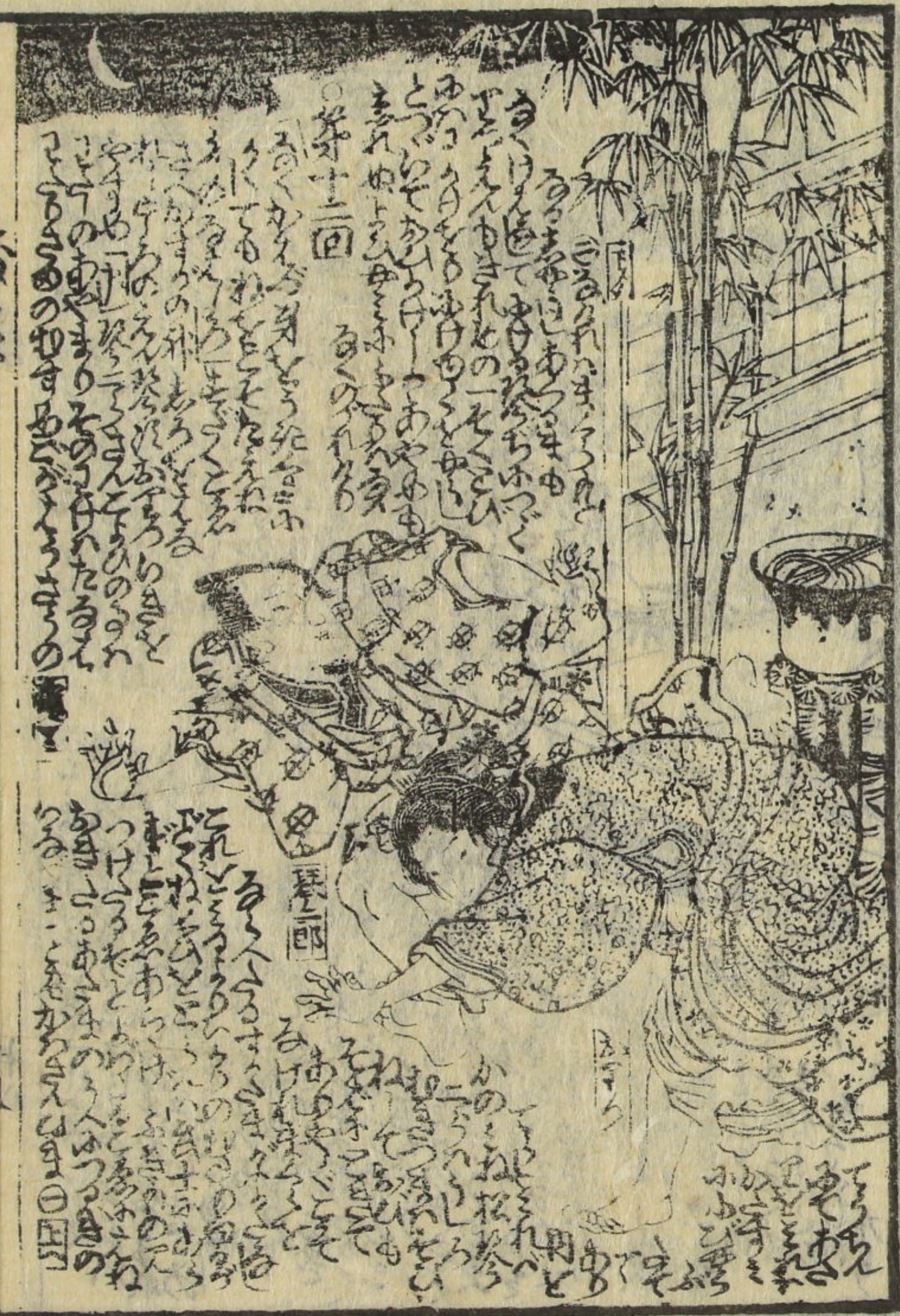


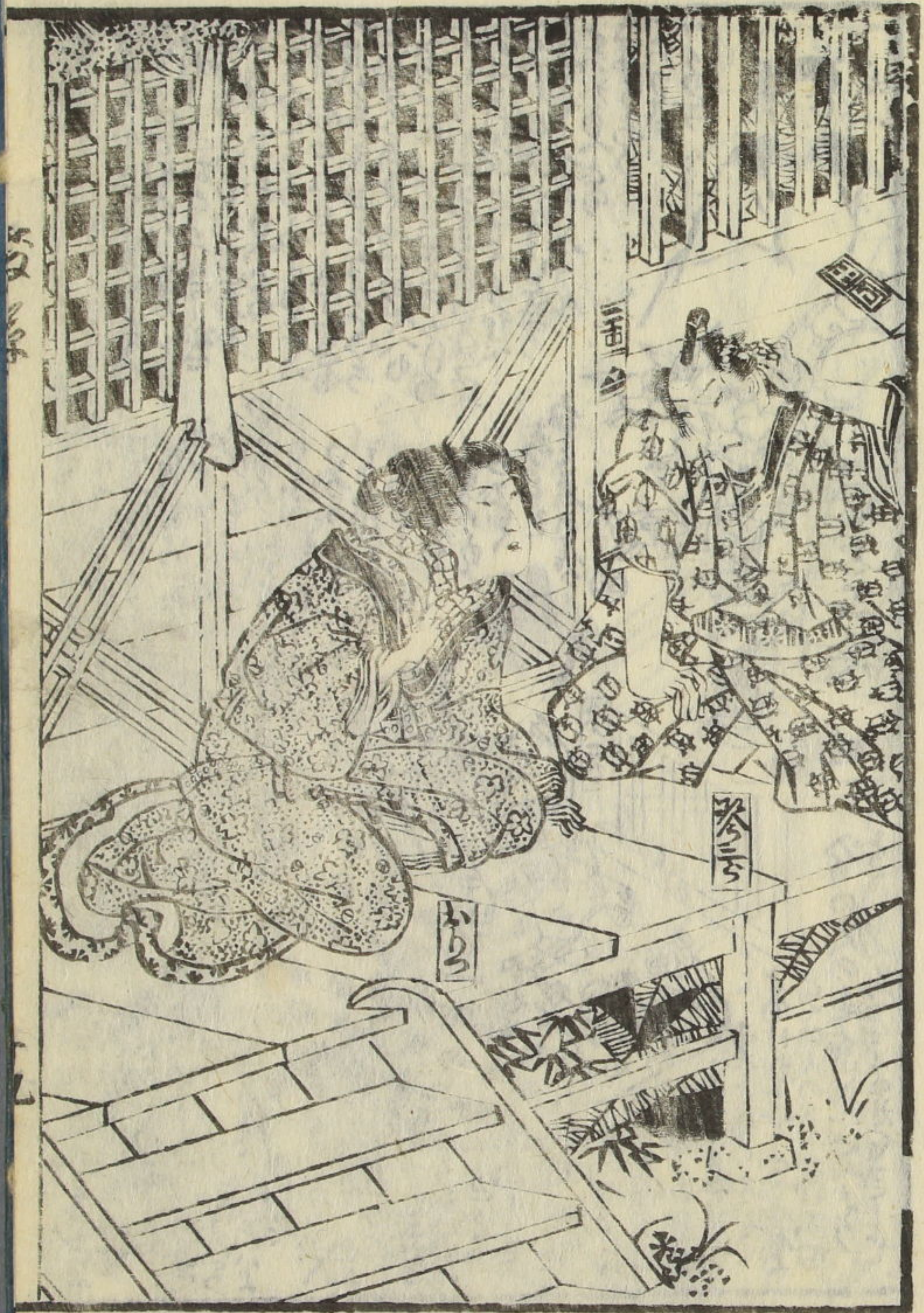
○第七回
本文
あつとふらう
せんくふらう
りらひのうらう

あつとふらう
せんくふらう
りらひのうらう
あつとふらう
せんくふらう
りらひのうらう









花

十



その三

昔々あるくさくさといふ
 うれいさからうさうさ
 昔々あるくさくさといふ
 うれいさからうさうさ

④ かく下けるはれが
 おのれはさるのけの
 さるはれはさるのけの
 さるはれはさるのけの

① おはるるるるる
 ひんがするるるる
 ひんがするるるる
 ひんがするるるる

十本



その三

昔々あるくさくさといふ
 うれいさからうさうさ
 昔々あるくさくさといふ
 うれいさからうさうさ

④ かく下けるはれが
 おのれはさるのけの
 さるはれはさるのけの
 さるはれはさるのけの

① おはるるるるる
 ひんがするるるる
 ひんがするるるる
 ひんがするるるる

十本

願主子歳の女
 みるやけれ
 ちのひ
 夏の
 うふ
 くれ
 あぬち
 あぬち



豊國画
 俗稱涼仙
 京山作
 肖造



教草女房形氣初編終
 全五册
 此書正編ノ由ニ行ル、日月ニ感ナリ而末ダ近世ノ戦畧ヲ記入ニ
 及ス故一先生新ニ續編ノ著アリ乃チ其載スル所ハ文化年間魯西
 亞ノ入寇一也リ、尔来中國又ハ西東ノ戦ヒ近年左實台湾、諸役昨
 年朝鮮江華島ノ捷ニ至マデ大小諸戦ヲ記シテ名将勇士ノ可勲
 偉畧洩ス所ナケンハ兵家必讀ノ書タル言アマズ今日開明ノ化ノ由テ
 興ル所以ス者マテ戦ニ出ルハ此書人々之ヲ關セサル可ラス、此書右
 子幸ニ願リニ収メテ其奇書タルヲ知リ、
 大阪書肆

照陽高見先生著
 續白土朝戦畧篇

此書正編ノ由ニ行ル、日月ニ感ナリ而末ダ近世ノ戦畧ヲ記入ニ
 及ス故一先生新ニ續編ノ著アリ乃チ其載スル所ハ文化年間魯西
 亞ノ入寇一也リ、尔来中國又ハ西東ノ戦ヒ近年左實台湾、諸役昨
 年朝鮮江華島ノ捷ニ至マデ大小諸戦ヲ記シテ名将勇士ノ可勲
 偉畧洩ス所ナケンハ兵家必讀ノ書タル言アマズ今日開明ノ化ノ由テ
 興ル所以ス者マテ戦ニ出ルハ此書人々之ヲ關セサル可ラス、此書右
 子幸ニ願リニ収メテ其奇書タルヲ知リ、
 大阪書肆

此書正編ノ由ニ行ル、日月ニ感ナリ而末ダ近世ノ戦畧ヲ記入ニ
 及ス故一先生新ニ續編ノ著アリ乃チ其載スル所ハ文化年間魯西
 亞ノ入寇一也リ、尔来中國又ハ西東ノ戦ヒ近年左實台湾、諸役昨
 年朝鮮江華島ノ捷ニ至マデ大小諸戦ヲ記シテ名将勇士ノ可勲
 偉畧洩ス所ナケンハ兵家必讀ノ書タル言アマズ今日開明ノ化ノ由テ
 興ル所以ス者マテ戦ニ出ルハ此書人々之ヲ關セサル可ラス、此書右
 子幸ニ願リニ収メテ其奇書タルヲ知リ、
 大阪書肆

重刊水鏡
經史子集
詩經源流

水鏡